

## 定例記者会見市長挨拶

令和5年6月7日（水）午後3時 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年来の電気料金や食料品、原材料費等の価格上昇によって、市民の生活や事業者の活動は厳しい状態が続いているところであります。

このような状況において、本市といたしましても、市民の暮らしや事業者の活動を守るべく、国の地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税世帯等や子育て世帯、物価高騰の影響が大きい事業者などに対する本市独自の支援策をとりまとめました。

詳細につきましては、この後「財政部長」よりご説明いたしますが、

千葉県による「子どもの成長応援臨時給付金」につきましては、県の対象から外れている、未就学児及び高校生相当年齢の子どもを対象に、本市独自で同額を支給することとしたところであり、これらの支援を市民や事業者の皆様に、スピード感を持って届けていく所存でございます。

次に、新型コロナウイルス感染症については、感染症法上における位置付けが、いわゆる2類相当から5類感染症へと移行したことにより、季節性インフルエンザなどと同様の扱いとなり、これまでの感染症対策が見直され、コロナ禍前の日常生活を取り戻しつつあります。成田のまちの賑わいを創出するため、各種イベントの開催に向けて準備を進めるなど、全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

そのような中で、成田の夏の風物詩である「成田祇園祭」が7月7日から9日の3日間にわたり開催されます。このお祭りは、成田山周辺の町内が一体となって行うもので、300年以上の歴史がございます。期間中は、見事な彫刻や装飾で彩られた山車や屋台が繰り出し、成田山表参道やその周辺一帯を巡行いたします。

また、この成田祇園祭の開催に合わせ、昨年に引き続き、成田祇園祭展や成田祇園祭特別講演会を開催し、ともに盛り上げてまいります。成田のまちが、祭り一色で賑わう季節がやっております。成田の夏の一大イベント成田祇園祭へ、ぜひ、お越してください。

最後になりますが、本市は昭和29年3月31日に「成田市」としてスタートし、令和6年3月31日に市制施行70周年を迎えます。

市では、節目となる年を祝うとともに、令和6年中に各種記念事業を展開します。そこで、市制施行70周年をPRし、親しみを感じてもらえるような「基本テーマ」と「ロゴマーク」を決定いたしました。

「基本テーマ」は「人を繋ぐ 歴史を繋ぐ 未来へ繋ぐ みんなの成田」とし、「ロゴマーク」は「飛躍」をテーマに、機能強化が進む成田国際空港をイメージできる、飛行機としての「うなりくん」をメインモチーフとしております。また、70周年の「7」をより象徴的に表現するため、「7色の虹」をメインロゴの中に組み込みました。「虹」が世界との懸け橋という意味合いであると同時に、多様性や共生社会をイメージするものにもなっていることを鑑み、多くの人を訪れる成田市に相応しいモチーフとしてアピールするものです。

市民の皆さまと一緒に市制施行70周年を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

さて、6月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、この後、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。